

ともに考えていきましょう！子どもたちのために

～寄島地区の新しい学校の姿「義務教育学校」～

令和4年12月第2号発行 よりしま魅力化推進協議会(学校運営協議会)

寄島地区の今後の教育の在り方を語り合いました。

PTA 役員会及び保護者会、学校運営協議会を臨時的に開催し、地域、保護者の方等との協議の場を設け、様々な角度から、子どもたちにとってよりよい教育につなげていくためには、どうすればよいかの視点での意見をいただきました。

【11/22PTA 合同役員会・12/9 合同保護者会での主な意見】

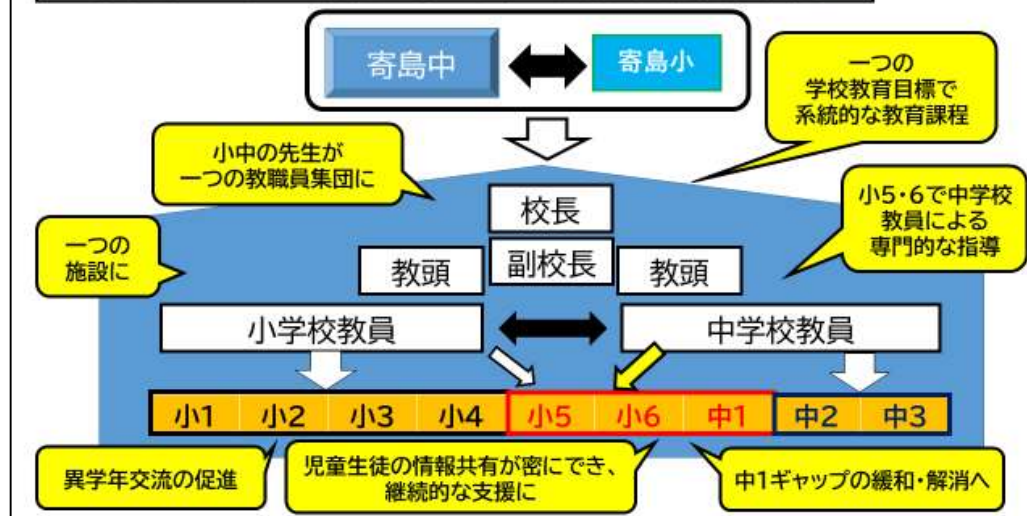
- ・寄島の子どものことを一番に考えていく必要がある。義務教育学校について、進めていくことはよいことである。
- ・小中9年間の年代の違う児童生徒が一緒になって学校生活を送ることで心身の成長がみられるのではないか。
- ・一方で体格差もあり、ともに学校生活を送る上での不安な面もある。
- ・異学年の交流が日常化し、より連携が進んでいくであろう。
- ・義務教育学校への移行は、子どもたちにとって、よりよい教育が展開されるならば早い時期に考えていかないといけない。
- ・しっかりと時間をかけて議論が必要である。
- ・施設改修も想定されるが、子どもたちの授業の支障にならないよう配慮してほしい。
- ・他地区から寄島地区への編入も考えられないか。

【12/1 よりしま魅力化推進協議会(学校運営協議会)での主な意見】

- ・寄島地区では義務教育学校がよい。地域との連携で子どもを育てることで学校も変わる。9年間を通しての学びをつくることで継続的に教育が展開できる。
- ・義務教育学校について心配はあるが、寄島にしかできないチャンスととらえている。地域みんなの賛同を得られるように一歩進めていきたい。
- ・義務教育学校は将来的な新しい教育の流れとしてよいこと。「よりしま学」を通して、寄島のよさを発信していくことも大切である。子どもたちが寄島のことを誇れるようになってほしい。
- ・義務教育学校への移行、開設に向けて、多くの意見・意向を聴くためのアンケートを実施していきたい。

★寄島地区での「義務教育学校」のイメージ★

寄島地区で考える施設一体型小中一貫校「義務教育学校」



義務教育学校に関する Q&A

Q1: 学習内容は変わるのか？

A 基本的に学習内容の変更はありません。学習指導要領の内容に基づいた教育活動を行います。

Q3: 9年間の指導区分はどのようになるのか？

A これまで市で進めている教育内容に対応した学力向上、発達の早期化、中1ギャップへの対応等から発達段階に即した指導につながる4-3-2制を考えています。

Q2: 義務教育学校になったら部活動はどうなるのか？

A 生徒がスポーツ・文化活動に継続的に親しむことができるように市全体で部活動の地域移行を検討しています。

※令和5年度から部活動は地域のスポーツ・文化活動へ段階的に移行し、学校から切り離していく方向です。

Q4: 施設はどうなるのか？

A 在籍する小学校・中学校9年間の児童生徒の充実した学びのために、よりよい学習環境整備、施設改修を協議し、進めていきます。